

キューピー

上司やメーカーのバックアップで
迫力ある陳列を実現

スーパーバリュー上尾愛宕店は本社に併設された旗艦店で、広い売場と店の活気が生み出す圧倒的な集客力が特徴の店舗。これまでも多くのディスプレイコンテストで受賞実績を持つが、今回金賞を獲得した同店グロッサリー担当・高橋亘氏(現在はスーパーバリュー中浦和店に異動)にとっては、初めてのコンテスト参加で、いきなりの最高賞受賞。

高橋氏は「入社2年目で今年から加工食品部門を担当するようになったため、コンテスト参加はまったく初めて。今回キューピーの葛谷仁史さんからバイヤーを通して日本一をねらいましょう、と熱意のある提案をいただき、参加を決めました。陳列にあたっては、経験豊富な上司で、当店のSMフロアマネージャー兼グロッサリー担当の山本泰友と相談し、アドバイスを受けながら取り組みました」という。

過去の受賞事例などを研究しながら、具体的な演出方法を3人で検討していった。その結果、時期柄に合わせて、来店客がワクワクするようなテーマとして「夏祭り」を決定。何度か売場デザインを描き、改良しながらアイデアを固めていったという。

実際の陳列作業については、キューピー関東支店もバックアップ。日頃から売場フォローを担当する株式会社ケイ・エスエスの今村智子氏をはじめ、キューピー関東支店からは城所冬樹氏、深康二氏、大塚千絵子氏、黒田悠夏氏、山崎高裕氏、奥野陽亮氏、仁科麻里子氏、一宮彰人氏、杉末研吾氏、橋本凌輔氏などがそれぞれの立場から陳列の応援や、演出のアイデア出しなどに参加した。

「陳列場所は日頃から催事スペースとして

キューピーあえるパスタソース
ディスプレイコンテスト
ボリュームコース 金賞スーパーバリュー上尾愛宕店
(埼玉県上尾市)

センターのやぐらには鉢巻をしたキューピーが、たらこの曲に合わせて踊り、両隣には浴衣を着たキューピーを配置。にぎやかで楽しめる夏祭りの雰囲気や売場で表現した



使用している目立つ場所で、今回は大きくスペースを取ったうえに『あえるパスタソース』のCMソングも流しましたので、非常に注目度が高く、一緒に歌うお客さまや、写真撮影されるお客さまもいらしたほどでした(高橋氏)と手ごたえを語る。

スーパーの売場を
楽しめる場所にしていきたい

陳列では、約80個の牛乳箱をベースに手づくりのやぐらや、入場門のようなディスプレイを設置。多くの販促物に加え、ライトやタワー什器を駆使して夏祭り感を

演出した。

また商品については、定番にあるフレーバーをすべて組み込み、冷製パスタのほか、さまざまな応用メニューのレシピをオリジナルPOPで提案。スーパーバリューPB商品の素材「カットトマト」「パスタ」をクロス展開することで、販促面での相乗効果をあげることに成功している。

「中央に鉢巻をまいたキューピー人形、左右に浴衣を着たキューピー人形を配置したのは、今村さんのアイデアで、手づくりしてもらいました。多くのみなさんの協力のおかげで、インパクトのある売場をつくることができました。その分、受賞の知らせを聞いたときはうれしかったです(高橋氏)

フロアマネージャーの山本氏からも「よかったね」と祝福されたという。

高橋氏は「販売実績もよかったのですが、こうした大陳を展開する意義は、やはりお客さまに楽しんでもらえるという点が大きいと思います。スーパーを楽しめる場所にしていきたい。私自身はまだ経験が浅く、陳列の基本で足りない部分もありますが、積極的に他店の陳列を見るなど勉強を続け、もっとお客さまに楽しんでもらえる、売上ににつながる演出を考えていきたいと思います」と語る。



(株)スーパーバリュー上尾愛宕店グロッサリー担当 高橋亘氏(左)、キューピー(株) 関東支店家庭用営業課 葛谷仁史氏(右)

夏祭りをテーマに楽しめる売場を展開
関連レシピの提案など情報訴求にも注力